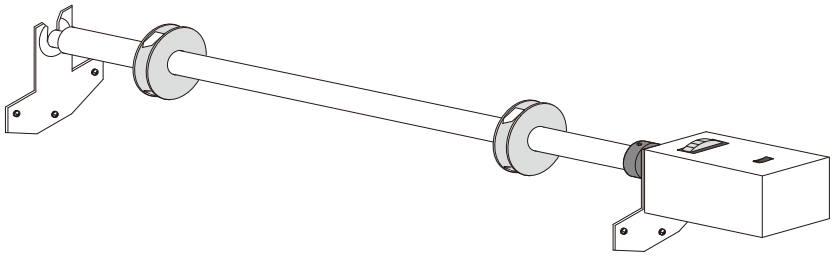
Lamipacker®

FUJIPLA

LW1112

取扱説明書（保証書）

この度は当社製品をお買上げいただきありがとうございました。
ご使用になる前に説明書をお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。



フジプラ株式会社
ホームページ http://www.fujipla.co.jp
ヘルプデスク
お問い合わせ **0120-227-846**

FUJIPLA Inc.
TOKYO, JAPAN

この度は、ラミパッカーLPP1112用巻取装置LW1112をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本装置は当社商品ラミパッカーに対応したオプション品で、ラミネート用コールドフィルムの離型紙(離型フィルム)を巻き取る機械です。紙等の片面に熱を加えずに、透明なプラスチックフィルムをラミネート(積層)するときに使用します。

本取扱説明書をよくお読みになり、危険や失敗がないよう末永くご愛用ください。

警　　告

分解禁止

巻込注意

感電注意

高温注意

⚠ ご自分では分解・改造・修理などをしないこと。万一、巻き込み等のトラブルが発生した場合は直ちに電源スイッチをOFFにして電源コードを外して販売店または当社に連絡していただき、その指示に従ってください。
⚠ ネクタイ・ネックレス等、巻込みやすい服装は避けること。髪が引き込まれないように注意すること。
⚠ 万一、巻き込んだ場合には直ちに電源をOFFにすること。
⚠ 機械に水をかけないこと、ぬれた手で操作しないこと。
⚠ 電源コードを機械の下にはさまないこと。
⚠ 移動する時は、必ず電源コードを抜くこと。
⚠ 機械の上部面およびラミネート仕上がり品は熱くなっております。
⚠ ラミネート禁止物(次項の「対象物」を参照してください)はラミネートしないこと。
⚠ 危険物のラミネートまたは誤った操作で発煙することがあります。
⚠ 安全カバーおよび前案内板は常時装着の上、使用すること。
⚠ 締め切った室内では、こまめに換気を行うこと。

安全取扱説明

安全にご使用いただくために、次の注意事項を必ずお守りください。

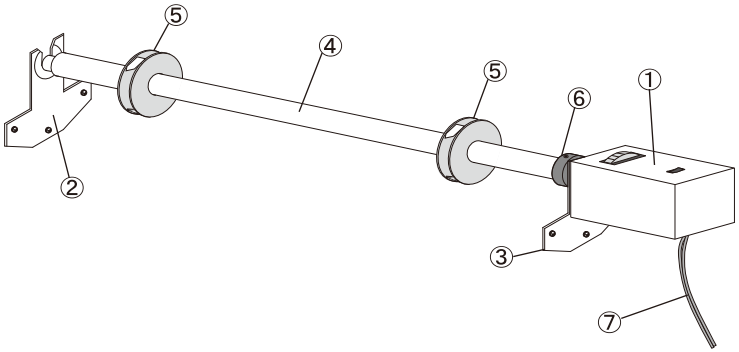
設置場所	1)湿気の多い場所、クーラーの吹き出し口近くは避けてください。 電気絶縁が劣化し漏電する危険性があります。 2)本機は平らな所に設置し、フィルム取り出し口側はラミネートされたものが取り出せるスペースをあけてください。 3)本体の上に物を置かないでください。 4)電源は必ずAC100Vから取ってください。たこ足配線は絶対に使用しないでください。 5)閉めきった部屋では、こまめに換気を行なってください。 6)感電防止のため、必ずアースを取り付けてください。アース線を取り付ける時は電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。アース線の取り付けは電電気工事店または販売店にご相談ください。 7)延長コードは使用しないでください。
対 象 物	コールドラミネートは熱を加えずに圧着して行いますが、操作の手違いなどにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはお止めください。 1)発火性の物、熱に溶け易い物(塩ビ,ポリエチレン等) 2)1枚しかないような大切なもの。 3)フィルムを含めて0.8mm以上の厚さのもの。 4)感熱紙・クレヨンで描いた絵など熱で変色・変質するもの。 ホットラミネートの際の注意事項については、対応するラミパッカーの取扱説明書をご参照願います。
機械操作	1)機械本来の使用目的以外には使用しないでください。 2)機械操作中は機械のそばを離れないでください。
保管場所	次のような場所には保管しないでください 1)極端に湿度が高い、または低い場所。 2)ほこりの多い場所。

目　　次

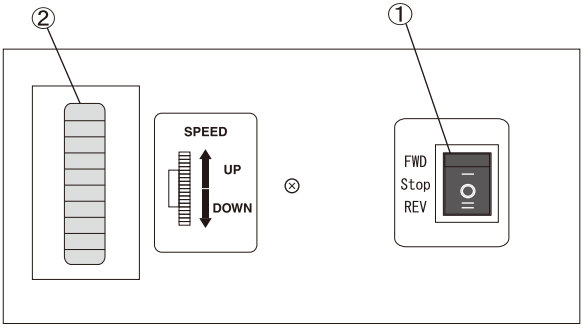
警告 ……1
安全取扱説明 ……1
目次 ……2
１．各部の名称 ……2
２．ご使用前の準備と簡単な組み立て ……3
３．ロールフィルムのセッティング方法 ……4
４．運転 ……5
５．作業の終了 ……6
６．機械仕様 ……6
保証規定 ……7

1. 各部の名称

①巻取装置本体
②スタンド(左)
③スタンド(右)
④巻取軸
⑤コマ３″
⑥巻取軸用軸受
⑦電源コード



■操作パネル
①電源スイッチ
②調節ダイヤル



2.ご使用前の準備と簡単な組み立て

(1)ラミネーター本体の左側板のネジ
(M4×6) 2本を外します。
同様に右側板からもネジ(M4×6)2本を
外します(図1)。

(2)スタンド(左)を左側板に付属のネジ
(M4×12) 3本で固定します(図2)。

(3)スタンド(右)を右側板に付属のネジ
(M4×12) 3本で固定します(図3)。

(4)巻取軸の丸形状を左に見て、コマの
ツメ先端がラミネーター本体の正面向き
になるように、コマ3″(2個)の六角穴付
ボルト(2本)を締込みます(図4)。

(5)巻取軸にφ75mm(3″)紙管を挿入して、
左右のスタンドにセットします(図5)。

※紙管挿入時、紙管をツメの向きと
同方向に少し回しながら挿入すると、
楽に入れる事が出来ます。

(6)巻取軸用軸受を動かして、巻取軸を
固定します(図6)。

図1

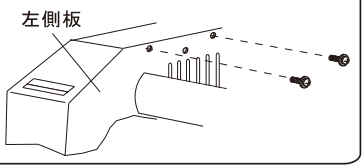


図2

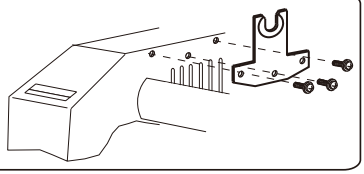


図3

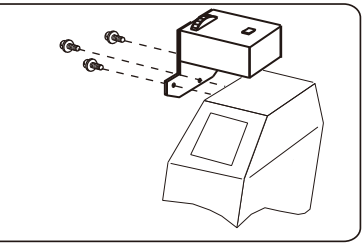


図4

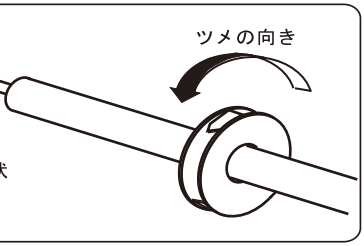


図5

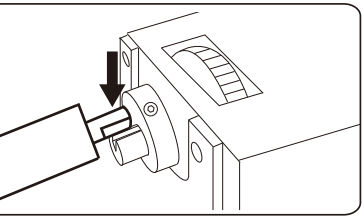
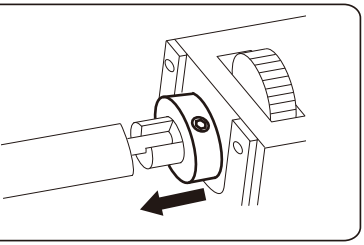


図6



３．ロールフィルムのセッティング方法

(1)ラミネート用コールフィルムとアンダーフィルムにラミネーター本体のマンドレルを挿入します。
マンドレルのコマ(2個)のツメ先端の向きがロールフィルムの巻き方向と逆向きになるようにして下さい(図1)。

※アンダーフィルムは、ラミネート用コールドフィルムの幅より大きいものを使用して下さい。

(2)マンドレルを上下それぞれのブラケットに架けます。
詳しくは、対応するラミパッカーの取扱説明書をご参照願います。

(3)フィルムをセットします。

※ラミネーター本体のヒートロールが熱い時は、ON/OFFスイッチを切り、充分にヒートロールが冷えてからフィルムセットを行って下さい。

3-1)上部のコールドフィルムを引き出してガイドロールの下部を通します。
(図2)

3-2)ラミネート用コールドフィルムの先端を剥がし、離型紙(又は離型フィルム)だけをガイドロールに通します。
(図3)

3-3)離型紙を巻取装置の紙管にテープで止めます(図4)。

3-4)アンダーフィルムをセットします。
詳しくは、対応するラミパッカーの取扱説明書をご参照願います。

図１

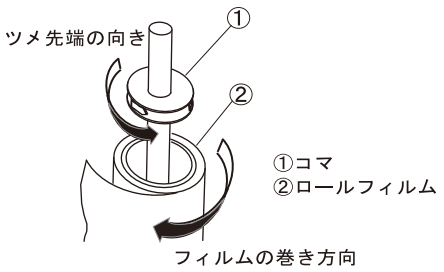


図２

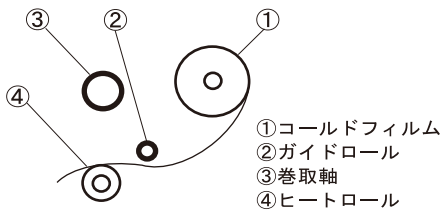


図３

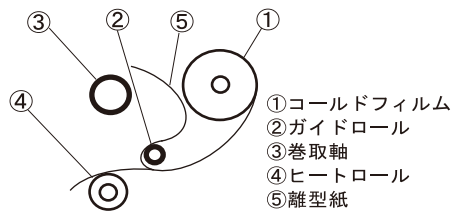
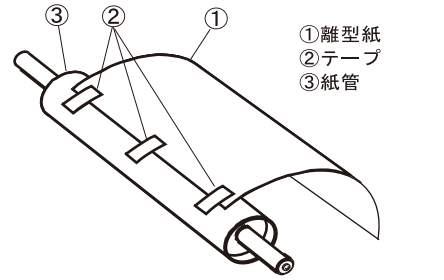


図４



４．運転

(1)巻取装置の電源コードをＡＣ100Ｖに接続します。

(2)ラミネータの操作
詳しくは対応するラミパッカーの取扱説明書をご参照願います。

2-1)ラミネーター本体の電源コードを接続し、ラミネーター本体の電源スイッチをＯＮにします。

2-2)ラミネーター本体のＯＮ/ＯＦＦスイッチをＯＮにして、ＨＥＡＴＥＲボタンをＯＦＦにします。

2-3)ラミネーター本体の速度は、ＳＰＥＥＤボタンを押して、ＵＰ／ＤＯＷＮボタンで速度設定が出来ます。

2-4)上部の粘着フィルムをヒートロールの前に下げておき、下側のアンダーフィルムを粘着フィルムに重ねます(図1)。

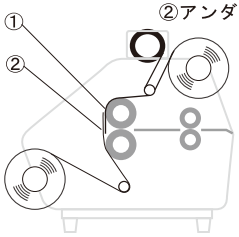
2-5)ラミネーター本体のマンドレルの端に付いている張力調整ナットを少し緩めにして下さい。

(3)ホットラミと同様に上下のフィルムをラミネーター本体に通します(図2)。
詳しくは、対応するラミパッカーの取扱説明書をご参照願います。

(4)ラミネーター本体のローラーを回転させる時は、巻取装置の電源スイッチを「ＦＷＤ」側にＯＮさせ、調整ダイヤルで離型紙の剥離位置を調整します(図3)。

(5)巻取装置の調整ダイヤルは、ラミネーターの設定速度に合せて調整して下さい。
フィルムの剥がれる位置が、ヒートロール側(図4)やガイドロール側(図5)に片寄らないように調整して下さい。

図１



①粘着フィルム
②アンダーフィルム

図２

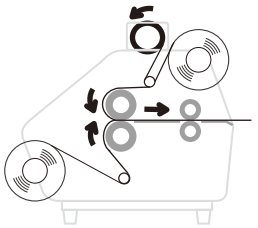
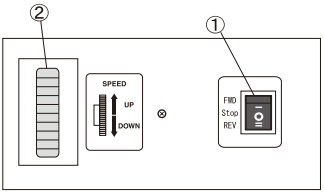
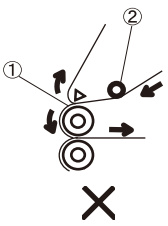


図３



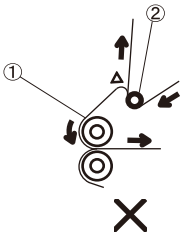
①電源スイッチ
②調整ダイヤル

図４



①ヒートロール
②ガイドロール
△フィルム剥離位置

図５



①ヒートロール
②ガイドロール
△フィルム剥離位置

４．運転

(6)ラミネート加工

6-1)ラミネーターのＭＯＴＯＲボタンを押すと同時に巻取装置の電源スイッチを上側にＯＮして、ローラーと巻取軸を回転させます。

6-2)マンドレルの張力調整ナットを調整し、ヒートロール上のシワが少なくなれば、ラミネート加工が可能です。

6-3)加工方法は、巻取装置の調整ダイヤルとラミネーター本体のマンドレルの張力調整がなされると、ホットラミと同じ方法で加工が可能です。
先ず、前案内板と安全カバーを取付け、次に加工紙と同等の紙質のもので「試しラミ」を行った後、本番の加工を行います。
加工中は加工紙を上から両手で押さえ、ピンと張って下さい。

５.作業の終了

作業の終了は、ホットラミと同様の手順で行います。
詳しくは、対応するラミパッカーの取扱説明書をご参照願います。

※最後にラミネーターの電源コードをコンセントから抜き取る際、巻取装置の電源コードも必ず抜いて下さい。

６.機械仕様

商品名	LW1112
対応するラミパッカー	LPP1112
最大巻取幅	1070mm
電源電圧	AC100V（50/60Hz）
消費電力	15W
本体サイズ(W×D×H)	170×100×100mm
巻取軸長	1160mm
重量	3.0kg

保証規定

この製品は、厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。
しかし、通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた時は保証規定に従い保証を致します。

1. 保証期間中に使用説明書記載通りの正常な使用状態において、万一故障が発生した場合、保証書を添えて当社または販売店へご持参下されば、無償で修理致します。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となり、実費にて申し受けます。
   a) 使用説明書記載どおりの取扱ではない、使用上の誤りまたは改造や不当な修理による故障および損壊。
   b) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変、ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障および損傷。
   c) ご使用中に生じた傷等の外観上の変化。
   d) 保証書の提示がない場合、または保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 万一、ラミネート加工に失敗した場合やラミネートした写真等の表面に気泡が発生した場合でも、内容物の保証は致しかねます。
4. 修理ご依頼品、および保守用部品のご持参および持ち帰りの交通費など、またご発送される場合、および当社より返送する場合の送料および諸費用はお客様のご負担となります。
5. 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造中止後、5年間です。
6. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
7. この保証書に従わなかった場合、機械の安全性能が損なわれる事があります。

☆本規定は上記条件において無償修理をお約束するもので、御客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理等は販売店または当社にお問い合わせ下さい。

ラミパッカー保証書

本書は保証期間内に正常なご使用で生じた故障について、取扱説明書に記載の保証規定に従い無償での修理を保証いたします。
故障した機械に本保証書を添えてお申し出下さい。

商品名	巻取装置　LW1112
M/C No.	
保証期間	ご購入日より１年間 ご購入日　　年　　月　　日

お客様名	
ご住所	
電　話	(　　)

販売店名・住所

印

FUJiPLA フジプラ株式会社
〒104-0041 東京都中央区新富1丁目18番8号 RBM築地スクエア